

資料2-8

IP網への移行後の音声接続料の在り方 事業者ヒアリング資料

2020年11月17日 NTTコミュニケーションズ株式会社

ヒアリング項目



着信接続料規制の制度設計

(1) 着信接続料規制の導入 により対応すべき課題

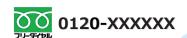
(2) 着信接続料の算定方式等

▶ 着信接続料の算定に関して 算定方式決定後に考慮、検討すべき事項 中継サービス呼の扱い

中継サービス呼の概要



- ✓ 代表的な中継サービス呼: フリーダイヤル・ナビダイヤル
- ✓ <u>0120・0570</u>で始まる<u>全国一律の専用番号</u>が利用でき、発信地域に よる<u>呼の振り分けや時間外ガイダンス</u>など様々な付加機能を提供
- ◆フリーダイヤルご利用イメージ





通話料請求 (着信課金)



お客様



◆ナビダイヤルご利用イメージ

企業コールセンタ、 公共機関相談・申請窓口等







通話料請求 (発信課金)



中継サービス呼の現状



- ✓ アプリ等による音声代替サービスの進展やSNSによる新たなコミュニケーション形態の創出等により、音声サービス市場全体としては縮退傾向にある中、中継事業者は創意工夫によりサービスの付加価値向上に取り組んできた
- ✓ その結果、中継サービスは現在でも一定の利用者様にご利用いただいており、IP網移行後も更なる高付加価値化・料金低廉化等により、利用者利便の向上に取り組む予定

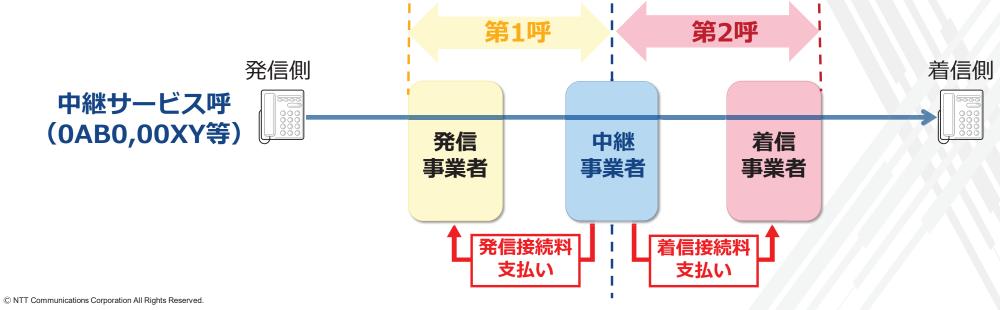
参考:フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスの契約番号数推移

委員限り

IP網移行後の中継サービス呼の特徴



- ✓ IP網移行後の中継サービス呼は、第1呼と第2呼を繋ぎ合わせる形態
- 中継事業者は、発信側・着信側の両方の接続料支払いが必要
- 中継サービス呼は、接続料の影響を大きく受けることから、利用者 利便向上の観点からも接続料の低廉値 とがより一層重要
- ◆IP網移行後の中継サービス呼の呼接続と接続料支払いイメージ



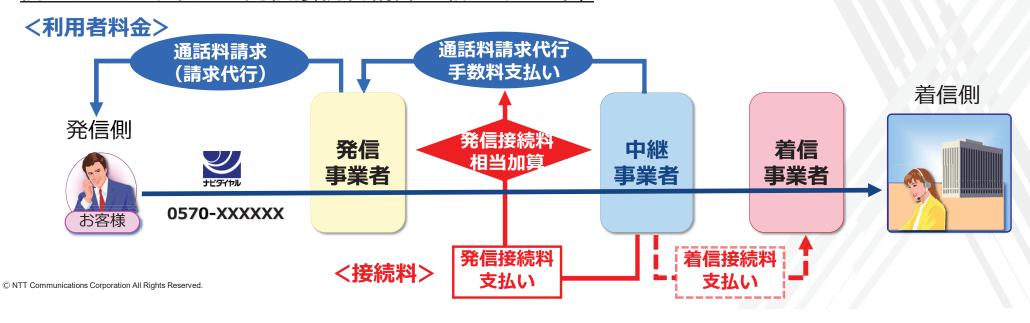
IP網移行後の中継サービス呼における接続料の扱い



5

- ✓ 中継サービス呼における接続料の扱いについても、一般呼と同様に 精算・規制等対応コスト最小化・接続料水準の低廉化による利用者 利便の向上を目指す
- ✓ 具体的な精算方式については、**従来の接続料精算の考え方に捉われ ることなく、新たな方式**を幅広く他事業者と協議を行っていく考え

例:ナビダイヤルの発信接続料精算 新たな方式案





ご清聴ありがとうございました